

ソフトバレーボール競技実施要項

1. 競技規則

競技は、大会開催年度の「日本ソフトバレーボール連盟規則」並びに大会申し合わせ事項に順じて行う。

2. チームの編成

(1) 1チーム4名以上8名以内とする。

競技者は男女で計4名編成し、男子2名以下及び、きこえる人は2名以下とする。女子のみの構成でも可。但し、65歳以上の男子は女子とみなすことができる。

(2) 監督・コーチは又はマネージャーが選手を兼ねる場合は、選手名簿にも登録されていなければ選手として出場できない。

3. 競技方法

(1) コートは、バドミントンコートを使用する。(6.1m×13.4m)

ネットの高さは2メートルとする。

(2) 予選はリーグ戦、決勝はトーナメント戦とする。(但し、参加チーム数に応じて実施方法を変更する場合もある)

(3) 試合は3セットマッチとし、2セット先取したチームを勝者とする。

(4) ラリーポイント制(1セット15点制、ただし、14対14の場合、2点差がつくまで続行するか、17点先取したチームを勝者とする。)

(5) プレー上の動作について

① サービスは1回とする。

② サービスとブロックを除き、ボールをプレーする動作はアタック・ヒットとみなされる。

③ サービスボールをネット上端より完全に高い位置からアタック・ヒットを完了したときは反則となる。

④ ブロックタッチはカウントしない。

⑤ 以下のプレーがあったときは反則となり、相手チームに1点が与えられる。

・3回を超えての返球(オーバータイムス)

・明らかにボールが止まるようなプレー(ホールディング)

・ブロックを除き、同一選手が明らかに2度続けてボールに触れたとき(ダブルコンタクト)

・ネットを越えて相手コートにあるボールに触れたとき(オーバーネット)

・インプレー中にネットやアンテナに触れたとき(タッチネット)

・サービス打球時にエンドラインに足が触れるか越えたとき(フットフォルト)

・センターラインを完全に踏み越したり(パッシングザセンターライン)、相手チームのプレーを妨害したとき(インターフェア)

・サービスがボールアウトになったり、ネットや味方選手に触れたり、サーバー側のコート内の床に触れたとき(サービスフォルト)

4. 試合球

円周 78 cm のミカサ製ボールを使用する。

5. 組み合わせ

組み合わせは、監督・主将会議において、抽選により決定する。

6. 表彰式

表彰は、競技終了後閉会式にて行う。

7. 競技注意事項

- (1) 競技者のユニフォームはチームにより統一された色と同じ形のものを着用しなければならない。
- (2) 競技者のユニフォームには、胸部と背中中央に番号を0から99の番号をつけなければならない。
- (3) キャプテンはユニフォームと異なった色で、胸部の番号の下に、長さ8cm、幅2cmのマークをつける。

8. その他

- (1) 上記に記載していない競技規則については、(公財)日本バレーボール協会制定のソフトバレーボール競技規則及び大会申し合わせ事項に準じて行う。
- (2) 監督・主将会議は、大会の前日に開催する。
出席資格は各チームの監督・主将またはその代理人とし、それぞれ2名以内とする。
また、開会式については、大会当日に行う。
- (3) 参加者は各自の責任において健康管理には充分注意し、良識ある行動をする。
- (4) 会場の使用規則を遵守し、喫煙については決められた場所でマナーを守って行う。
- (5) 大会参加申込締切日以降の出場選手の変更については、事故等による選手、監督、コーチ等の変更は、別紙様式 I を9月11日(金)の監督主将会議開始前までに提出すること。
会議後の提出は認めない。
- (6) 変更登録した選手、監督、コーチも参加料を支払わなければならない。また、一旦納入した参加料は、大会参加申込締切日以降、理由の如何に関わらず返金はしないものとする。